

## 企業誘致について

**問** 誘致企業を選ばせていただく。一方で地元企業との連動性も勘案させていただくなどの「誘致基準」が必要ではないか。

**答** 企業誘致で雇用を増やすことから、質・成長性・地元波及重視へシフトしていきたい。

## 地域製造業について

**問** 75%の事業主が抱えている事業継承問題は、10年後の大きなリスクだ。

**答** 去年は倒産の10倍の自主的な廃業があった。これは後継者問題にある。地域を超えた人材獲得も含め、ウイングも広げながら事業承継に本格的に取り組まなければならない。

## 美術館整備について

**問** 文化芸術への本質的議論、整備・運営の財源議論、整備手法の議論はしっかり行われたのか。内容を明確にし、県民総意が重要だ。

**答** (教育長) 地域再生の中核的施設は必要で、整備

について議論中。今後、運営方法や運営費等について審議する予定。現博物館の再整備については博物館協議会で議論していく。財源の議論は検討委員会等ではしていない。国の補助制度は無く、起債、あるいは県の一般財源となる。

## 小規模校の今後について

**問** 高校の存在は地域が持続する大きなファクターとなり得る。1クラスも想定に、地域と仕事を創造できる将来人材の養成機関に転換すべきだ。

**答** (教育委員長) 問題点は、地方の未来像が見えないということだと思う。県教委の指示に従うのだというように、我が事感というのが少し弱かったと思う。問題意識は県教委も、私たちが強く持っており地域、学校などと一緒に新しい試みを進めたい。

会派正式名称

【自由民主党】 鳥取県議会自由民主党  
 【民 主 党】 鳥取県議会民主党  
 【公 明 党】 公明党鳥取県議会議員団  
 【希 ぞ み 望】 鳥取県議会会派希望  
 【共 産 党】 日本共産党鳥取県議会議員団

※会派名は  
2月定例会  
時点の名称  
を記載して  
います。

# 一般質問

2月定例会では、27人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。  
 なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

### 県立美術館設置は 東部経緯を考慮に



銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市  
会 派 公明党

**問** 東部設置が筋だ。これまでの不幸な経緯と背景を判断材料に入れた決定でなければ、県民大方の納得が得られない。

**答** 教育委員会で議論の後、私と議会との話し合いに入っていく。感情論やいきさつとして、いろいろとのみ込みながらの議論、慎重なプロセスが必要だ。銀杏議員からの貴重な意見を胸に刻み、私もこの検討にいずれ参画していきたい。(教育長) 東部の思いも理解できる。議員の意見も含め専門委員会に報告し、総合的に勘案していく。

### 中山間地の現状と 活性化策について



福田 俊史 議員

選挙区 八頭郡  
会 派 自由民主党

**問** 我が八頭郡は県平均の3倍の勢いで人口減が進んでいる。このような中山間地の活性化に向け、きめ細やかな調査と分析、その結果に基づいたきめ細やかな対応策が今必要なのではないか？知事の所見を問う。

**答** 議員の御意見を踏まえ、今後市町村と協議し、調査内容を検討したい。またその調査結果に基づき、現場に即した中山間地対策を講じていくことにより、地方創生という大きな課題の道筋をつけていけるのではないかと考えている。

### 若年性認知症患者 への支援について



島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市  
会 派 自由民主党

**問** 働き盛りで発症する若年性認知症の経済的困難や早期診断、医療、介護の不足解決にとって、患者一人一人の状態に応じた支援体制が必要ではないか。

**答** 治療センターを中心に、かかりつけ医の水準の向上、サポートセンターによる生活上の様々な困りごと、医療問題の解決支援など、当事者と近いところで若年性認知症に対して社会全体でアプローチしていき、若年性認知症患者一人一人に寄り添ってまいりたい。

## 県立美術館建設へ 決意と覚悟を問う



坂野 経三郎 議員

選挙区 鳥取市  
会派 民主党

**問** 美術館へ協力を惜しまない鳥取市長、建設を求める鳥取市議会と、署名された53,118名の強い願いをどう受け止めるか。

**答** 鳥取市長の決意は評価をする上での一つのポイント。(教育長)用地の無償提供など、県の財政事情も厳しい折から、ありがたい話だと考えている。

**問** 知事自身が覚悟と決意を持って取り組むべきと考えるが。

**答** 今後世論をさばっていく段階になったときには、教育委員会とタッグを組みながら対処する場面に入っていくと考える。

## 県財政、高等教育、 文化振興など



藤井 一博 議員

選挙区 東伯郡  
会派 自由民主党

**問** ①県財政の健全化に向けての今後の取り組みについて②倉吉鴨水館への支援について③東京オリパラ文化プログラムへの取り組みについて

**答** ①県債など、低金利の現況を鑑み借り換えなど負担軽減に努める。公共施設の改修・更新について技術革新などを取り入れつつ平準化を図る②(教育長)県としてもサポート体制の充実を探る努力を行う③大山1300年祭、BeSeT o演劇祭などが対象となる。また、障がい者部門のプログラム参加も考える。

## 検定中教科書閲覧 問題について



松田 正 議員

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**問** 31名の教員が教科書会社から金銭等を受領していた件は教科書採択の公正性を大きく損なった。知事の所見を伺う。

**答** 教科書選定の公正性について聖職である教員には厳格に考えていただきたい。県教委から本件の調査について市町村教委に任せたいとの説明を受けたが、私は県教委として責任を持って調査しなければいけないと申し上げた。厳正に事態をあぶり出し、本県においても襟を正していく必要があると思う。

## 訪問看護ステー ションの整備



前田 八壽彦 議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**問** 施設から自宅へという医療政策の流れの中、訪問看護は、患者と家族の生活を支え、その役割は大きく重要。訪問看護ステーションの整備促進を。

**答** 地域包括ケアシステムを進めるためには身近にある訪問看護ステは欠くことができないもの。地域の高齢者の見守りや医療的ケアが必要な方にとって地域での医療や看護の拠点だと思う。市町村や医療関係者と二人三脚で、地域として支え合える社会、その基盤として訪問看護ステーションを整備していく。

## スポーツ振興と 競技力の向上を



横山 隆義 議員

選挙区 東伯郡  
会派 希望 (のぞみ)

**問** ①WTC(※1)開催の今年こそスポーツ交流事業の実施に向けさらなる努力を②部活動外部指導者制度、体育専任教員制度の拡充、充実を図るべきでは。

**答** ①WMG(※2)等スポーツの祭典に鳥取県も一枚加わり、スポーツのリゾートとして世界に名前を知らせたい。②外部指導者制度の活用に向けた条件整備についてスキームを考えてみたい。(教育長)体育専科非常勤講師の配置に加え、新たにモデル校での小学校体育の教科担任制の取組みを検討している。

## PPP/PFI(※3)の 積極的推進



川部 洋 議員

選挙区 倉吉市  
会派 希望 (のぞみ)

**問** 国は財政の健全化と社会資本の整備の両立を図るために、大規模施設のPPP/PFI手法の優先的導入の検討を自治体に求めているが、美術館の建設も含め県として今後どのように取り組むつもりか？

**答** 大規模施設のPPP/PFIの優先的検討規程については、27年度中にも固めたいと思う。美術館についても、教育委員会の検討の足を引っ張るようなことにならないように、執行部としてPPP/PFIの優先検討規程の作業を急いでいる。

※1 WTC…ワールドトレイルズカンファレンスの略。世界のウォーキング・トレッキング関係者の集う国際会議で今年10月14日～17日に鳥取県で開催される。

※2 WMG…ワールドマスターズゲームズの略。生涯スポーツの国際総合競技大会。